

保証切れのままになっている HPE製品はありませんか？

平素はHPE製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
お客様から「修理依頼をしたら保守契約し忘れていた機器で、有償になってしまった」というお声をいただくことがございます。多くのHPE製品は3年間の標準保証付きですが期間終了のご案内は行っておりませんので、いざというときに予想外の費用が掛かるリスクがございます。是非今一度ご確認いただき、発見された場合は保守ご購入をご検討ください。

たとえば、
こんなに違います！

(いずれも2023年6月1日時点の消費税別価格)

もし、、、
保証期間の終了後に、
マザーボード交換が
必要な修理が発生したら…



**HPE
ProLiant
DL360 Gen9
の場合**

保証切れの場合

1回の修理費用は
これだけかかります

約 256,000 円

内訳

マザーボード部品代
約 130,000 円

オンサイト作業代
約 56,000 円

翌日対応特別料金※
約 70,000 円

(翌日対応を指定した場合の例)

※保証外オンサイト有償修理は翌日
対応が基本となり、翌日対応を希望
される場合は別途料金が発生します。

保守契約ありの場合

修理一回分の
 $\frac{1}{3}$ 程度※の
保守料で
一年間
修理費不要!!

※HPE Tech Care Basic
1年間換算

保証期間は[こちら](https://www.hpe.com/jp/hosho-check)から
ご確認いただけます。

[hpe.com/jp/hosho-check](https://www.hpe.com/jp/hosho-check)



機器のシリアル
ナンバーを
ご用意ください。

またHPEでは他社製ハードウェア保守もご提供しております。コール窓口一本化、
保守契約一本化、メーカー保守終了後の延命対策などのメリットがあり、台数規模に
よっては保守費の節約になる場合もございますので合わせてご検討ください。

他社製品保守サービス“HPE マルチベンダーサービス”に関して詳しくは[こちら](https://www.hpe.com/jp/mvs)。

[HPE.COM/JP/MVS](https://www.hpe.com/jp/mvs)



お問い合わせは製品ご購入時のHPE販売パートナー様または
HPEコンタクトセンターまで

HPEコンタクトセンター アドレス: api-jp.supportcontracts@hpe.com

本書に含まれる技術情報は、予告なく変更されることがあります。記載事項は2023年6月1日現在のものです。
記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。本サービス仕様に関する事項の他、本サービスの内容及び
提供条件は、「お取引条件書(標準製品取引用)」またはお客様と当社で合意するその他の契約条件に定めるとしております。

© Copyright 2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP

日本ヒューレット・パカード合同会社
〒136-8711 東京都江東区大島二丁目2番1号